

1. 報告事項

1件の国際交流事業について報告。

第10次北海道小中学生書道交流訪中団参加

【委員】

- ・事業報告や添付の写真の様子からも、良い研修だったことがうかがえる。
- ・感想文の「たくさんの思い出ができて、一生の宝物になりました」という言葉を信じ、今後の期待をしたい。

【事務局】

- ・広報8月号で参加レポートを掲載済み。

【委員】

- ・広報などを通して周知することはとても大事。

2. 議事

4件の国際交流事業について審査。

ニュージーランド ラグビーキャンプ プログラム(3件)

【委員】

- ・昨年の参加者報告を聞き、良い取り組みだと感じた。
- ・選出のされ方は？

【事務局】

- ・選出にあたっては、積極的に手を挙げての参加と聞いている。半額補助なので参加者へのそれなりの負担もあり、積極的意思なしには参加できないものとする。

【委員】

- ・とにかくしっかりとした報告を。「楽しかった」程度の感想文では困る。

【事務局】

- ・報告はしっかりとあげていただけるようお願いする。

日本詩吟吟舞国際大会参加(1件)

【委員】

- ・国風流富良野支部はレベルも高く活動も盛ん。

【事務局】

- ・国外における市民団体の友好親善交流、研修・視察交流などにあたり、補助の対象としては申し分ないと考えられるが、補助金の予算をオーバーしてしまう。そのため、審査委員会では、内容の審査及び合否の判断をしていただき、補助金額の算定は、事務局(企画振興課)と団体の協議により決めさせていただくことで了解を得たい。

【委員】

- ・補助対象として認める。金額の算定はお任せする。

(8/21)ラスベガスでの自由研修分を補助対象外として算定する。